

もうすぐお盆がやってまいります。年に一度、亡き親しい人が、我が家に帰ってくるという、お盆の行事は、どれほど私たちにあなたかいかい気持ちと生きる力を与えてくれることでしょう。

ご先祖は、木の根のように私たちの命の栄養となって支えてくれています。冒頭の歌の「たまきはる」は、魂が極まるの意味で命、現「うつつ」、幾代、昔

**お盆を
むかえて**

あかあかと
一本の道とほりたり
たまきはる
我が命なりけり

斎藤茂吉



第39号

発行所
龍華寺
静岡市清水区
村松2085番
編集 小倉弘運

お知らせ

◆東日本大震災、義援金募金箱を客殿玄関前に設置中。引き続き御協力をお願いいたします

◆八月十七日（水）九時三十分より御施餓鬼法要が開かれます

などにかかる枕詞「まくらことば」です。祖先からの命のリレーが、一本の道のようにあかあかと続き、「私」の命に魂きわまる（刻みこまれていく）のを想って感謝する。それがお盆の行事ではないでしょうか。どうぞ、心静かにご先祖から続く命の道を想い、ふだんは忘れがちな感謝と祈りをささげ、お盆をお迎えください。

合掌

仏経豆知識

●お盆と提灯

昔から初盆（新盆）には、親戚縁者が新仏の為に家の中でもす灯籠や、お墓用の灯籠を贈る習慣があります。新仏の冥福を祈り、また万灯の中の一灯として供養するの趣旨で、ローソクを添えて贈ります。昔は仏間の軒下に、沢山の灯籠をつるしお盆中の夜にずっと灯したものですが最

近は余り行われなくなりました。また人の死後、七回忌まで毎年、盂蘭盆のある七月に高く立てる灯籠を、古くは高灯籠といわれています。

精霊たちが、家に帰る目印として、庭の高い場所や母屋の周囲などに灯籠や提灯をかかげる習わしがありました。

盆灯籠の歴史は古く、藤原定家の日記『明月記』に次のように記されています。

「寛喜二年（一二三〇）七月十四日云々、近年、民家には今夜長竿を立て、そのさきに灯籠のごとき物を付け、灯をあぐ。遠近にこれあり、年をおってその数多し流星、人魂に似たり」

このように、古くから民間でも灯籠が使われていたことがわかります。

高灯籠きえなんとする
あまたたび
蕪村

平成二十三年度
御施餓鬼法要のお知らせ

謹啓
猛暑の候 お見舞い申し上げます。日頃、檀信徒の各位の皆様方に於かれましては、山門護持丹誠に御心配りをして頂き心より御礼申し上げます。さて、今年も例年の如く 左記の如く御施餓鬼法要を奉行いたします。お暑さ中では御座いますがお誘い合わせのうえ御参加くださいますようお願い申し上げます。

謹白

記

- 一、日 時 …… 平成二十三年八月十七日【水曜日】
- 一、世話人集合 …… 八時
- 一、受付開始 …… 九時
- 一、説法【法話】 …… 九時三十分より
- 一、施餓鬼法要開始 …… 十時三十分
- 一、無縁碑参拝 …… 十一時
- 一、各家付け施餓鬼
- 一、寺よりの報告
- 一、お 齋 食

説法【法話】

日蓮宗静岡県中部
布教師会会長

富士市 妙覚寺住職
塚本智秀上人

盂蘭盆施餓鬼会とは？

施餓鬼は、六道のひとつ餓鬼道に墜ちて苦しんでいる無縁仏を供養する法会です。お釈迦様の弟子の一人神通力第一の目連がその神通力で亡くなった母親の姿を見たところ餓鬼道に墜ちていることがわかり、目連は母親を救う為にお釈迦様に教えられた通り供養を行い、その功德によって母親を餓鬼道から救い出すことができたという『盂蘭盆経』の故事に由来しています。

例年の如く 付け施餓鬼卒塔婆供養を行います。
各家先祖代々之霊位・本年初盆を迎えられた霊位・水子の霊位・回向されたい霊位等々、無縁仏の霊位 付き施餓鬼卒塔婆供養をされる希望される方は、八月十三日までに別紙申し込み書に記載のうえ卒塔婆代【一本三千円】を添えて龍華寺までお願いします。

又、施餓鬼会は、餓鬼に供養を施し、各家の御先祖様に供養を施すとともに、自分自身の貪りの心に供養を施す行事です。お墓はお寺にあるけどまだ身内がお墓に眠っていない家の方も菩薩の心で御出席頂ければと思います。また都合により来られない方々もおられるとは思いますが、なるべくなら御出席頂きますようどうぞ宜しくお願いします。



東日本大震災義援金

6月1日までに
¥337,729-

集まりました義援金は日蓮宗宗務院を通じて
東北地方の日蓮宗各寺院に届けられます。

引き続き、東日本大震災をはじめとする義援金の御協力を御願
い致します。お寺の客殿玄関に箱が設置して居ります。

御協力ありがとうございました

ご報告

境内墓地清掃
6月1日参加者

- 稲名宮彦子様
- 久木一彦様
- 佐野照子様
- 渡辺洋子様
- 吉野津子様
- 名取恵み様
- 後藤清江様
- 岡村平江様
- 梅原介枝様
- 工藤猛様
- 渡邊一朗様
- 大瀧潤子様
- 菅英俊様
- 大瀧英子様
- 片瀬ふみ様
- 本多香世様
- 小林久馬様
- 小多房男様
- 大瀧芳夫様
- 大瀧かな彦様
- 加藤幸江様
- 井上チエ様
- 大瀧富子様
- 入倉賢士様
- 望月節子様
- 須美恵子様
- 稲名徹哉様
- 山梨千代子様
- 鈴木良子様
- 木内陽子様
- 中島郁子様
- 兼高佐枝様
- 江連久枝様
- 橋本静枝様
- 柴田卓子様
- 大瀧邦子様
- 本清江枝様
- 松本清江枝様
- 大瀧清江枝様
- 山利太郎様
- 杉山和友様
- 千頭和郎様
- 奥山和友様
- 中山富美枝様
- 村原静彦様
- 桑田静彦様
- 池田静彦様
- 辻田静彦様
- 片瀬静彦様
- 長沼静彦様
- 鈴木美和様
- 井上美和様
- 大瀧康弘様
- 鈴木康弘様

また当日参加できなかった方には、ご報告も多
く、誠にありがとうございました。

護持会費納入のお知らせ

お寺からの
お知らせ

壇信徒の皆様方に於かれましては、日頃より菩提寺の
護持丹誠に御活躍頂きまして誠に御座います。
さて本年も、菩提寺の護持の為、護持会費の納入をして
頂く為、ここにお知らせ申し上げます。


【護持会費の納入方法について】

- ◆、**7月10日～15日の間に寺へ持参して頂く方法**
※7月10～15日の間、寺の大玄関前に護持会の受付を設けます。
なるべくならこの期間に護持会費の納入をお願いします。
- ◆、**役員が御自宅へ集めにいく方法**
※例年取り村松妙音寺、村松南、村松原、日立町、の地区等では各
担当の役員が護持会費を集めにまわっています。
※今まで他の地区も役員が集めにまわっていましたが担当役員の体
調の変化もあり、まわる事ができなくなった地区の方はどうぞ、お
手数ですが、寺に持参して頂くか、振込でお願いします。

◆、振込して頂く方法

【振込先】

金融機関名 J A清水 清水支店
 口座番号 (普) 0009352
 口座名義 (宗) 龍華寺 (シュウ) リュウゲジ

 **観富山龍華寺**
護持会長 池田錦吾
総代・役員一同

◎初盆について
今年、初盆を迎えるのは、平成二十二年五月二十六日より平成二十三年五月十九日までで逝去された方です。
へお盆までに四十九日忌を終えられた霊位です。
初盆のお家へは、申し分け御座いませんが事情がないお宅以外は七月十日、十一日に柵経に参らせさせていただきます。また八月十七日「水」に当山の施餓鬼法要が御座いますが、法要に御出席して頂き、霊位の新盆の卒塔婆をお求め頂きますよう宜しくお願いします。

◎御遠方の檀信徒様へご案内
御遠方の檀信徒に於かれましては、限られた時間の関係上のお盆の柵行は御遠慮させて頂きまして、どうぞ、八月十七日の御施餓鬼に出席して頂くか、それも都合上、困難の場合は卒塔婆を御注文して頂いて霊位の御供養をして頂ければ幸いです。



◎御墓参りにお出での檀信徒様
犬の散歩ついでにお墓参りに来られる方がいらつしやいます。墓地は御先祖様が眠っておられる神聖な場所です。どうぞ犬の散歩ついでのお墓参りは御遠慮して頂きますよう宜しくお願いします。

奉納

墓地のコンクリート

村松原 片瀬紘一様



牡丹・折戸茄子
カサブランカの苗

三保 遠藤 勝様



受付裏の花壇

妙音寺 大瀧康夫様



じゃがいも・たまねぎ沢山

村松南 大滝芳夫様

◆その他、いつも様々な方から様々の物を頂いて居ります。有難う御座います。